

2019年4月18日

元号「令和」の字体の指導についての参考資料

墨田区教育委員会 委員 坂根 慶子

元号が「平成」から「令和」に変ることで、教育現場で字体の指導について、戸惑いや混乱が起きることを懸念し、以下に参考となる資料を各種文献から引用して示す。

<字体の例>

第2 明朝体活字と筆写の楷書との関係について

常用漢字表では、個々の漢字の字体(文字の骨組み)を、明朝体活字のうちの一を例に用いて示した。このことは、これによつて筆写の楷書における書き方の習慣を改めようとするものではない。字体としては同じであつても、明朝体活字(写真植字を含む)の形と筆写の楷書の形との間には、いろいろな点で違いがある。それらは、印刷上と手書き上のそれぞれの習慣の相違に基づく表現の差と見るべきものである。以下、分類して例を示す。

1 明朝体活字に特徴的な表現の仕方があるもの

(1) 折り方に関する例

衣 - 衣 去 - 去 玄 - 玄

(2) 点画の組合せ方に関する例

人 - 人 家 - 家 北 - 北

(6) その他

令 - 令 令 外 - 外 外 外

女 - 女 女

引用文献

文化庁『公用文の書き表し方の基準(資料集)』増補二版 平成13年
第一法規 (付) 字体についての解説 PP.35-37 より抜粋

<字体に関する文化庁の指針について> 引用文献の「経緯」の部分より

◎経緯

漢字の字体・字形については、昭和24年の「当用漢字字体表」以来、その文字特有の骨組みが読み取れるのであれば、誤りとしなないという考え方を取っており、平成22年に改訂された「常用漢字表」でもその考え方を継承している。

しかし、近年、手書き文字と印刷文字の表し方に基づく違いがあることが理解されにくくなっている。また文字の細部に必要以上の注意が向けられ、正誤が決められる傾向が生じている。

今回の報告では、漢字の字体・字形について詳しく解説するとともに、常用漢字(2136字)全てについて、印刷文字と手書きのバリエーションを分かりやすく例示している。(注1)

小学校学習指導要領解説国語編(平成20年6月文部科学省一部抜粋)

文部科学大臣政務官通知「常用漢字表改訂に伴う中学校学習指導要領の一部改正等及び小学校、中学校、高等学校における漢字指導について(通知)」(平成22年11月30日 22文科初第1255号 一部抜粋)

文部科学大臣政務官通知「大学入学者選抜における常用漢字表の取扱いについて(通知)」(平成22年12月8日 22文科高第895号 一部抜粋)

実際の教育現場では、使用する教科書やそれに基づく教材等に示された字形以外の字形は誤りとする評価が行われることがある。そのような評価は、上記の学習指導要領解説や文部科学省大臣政務官通知等の内容に基づいて、指導の状況や場面を踏まえた教育上の配慮として行われるものである。しかし一方で、「字体についての解説」についての理解そのものが十分に広がっておらず、その内容が知られないまま、指導した字形に沿った評価が行われる場合があるとの指摘もなされた。…中略…

これらの意見聴取を踏まえ、児童生徒が学習指導要領に基づく学年別漢字配当表に示す字体を標準として漢字を習得することを通して生涯にわたる漢字学習の基礎を培うとともに、将来の社会生活における円滑な漢字運用を身に付けていくことができるよう、教育関係者が「字体についての解説」の内容を理解した上で、評価においては、指導の場面や状況を踏まえた柔軟な評価を行うことが期待される。

引用文献

注1) 文化庁 報道発表『常用漢字表の字体・字形に関する指針(報告)について』平成28年2月29日 P.1

注2) 同上 P.12

<「令和」の音声アクセントについて>

「令和」の音声アクセントについては3音節名詞のアクセントに準ずると考
える。3音節の名詞アクセントは4種類(頭高型、中高型、尾高型、平板型)あ
るが、実際に映像メディア等で私が聞いたアクセントは2種類で、現在の3音
節名詞のアクセントの主流を占めるものであり、今後はこの二種のアクセント
が使われると推測する。

- | | | | | | | |
|---|--------------------------------|--------------------------------|-----|--------------------------------|--------------------------------|------|
| ① | $\overline{\text{レイ}}\text{ワ}$ | $\overline{\text{レー}}\text{ワ}$ | 頭高型 | $\overline{\text{ド}}\text{ナタ}$ | $\overline{\text{セイ}}\text{ト}$ | (生徒) |
| ② | $\text{レイ}\overline{\text{ワ}}$ | $\text{レー}\overline{\text{ワ}}$ | 平板型 | $\text{ワ}\overline{\text{タシ}}$ | $\text{ツク}\overline{\text{エ}}$ | (机) |

①は新元号発表当日の2019年4月1日に菅官房長官が発表の際に発声した音
声アクセントである。私が聞いた限りでは、メディアが街でインタビューした市
民の音声に関しても、やや年配の市民にこの型を使うのが多いと判断した。

②は同様にメディアでのインタビューについてであるが、比較的若い人が使う
傾向があると判断する。

ちなみに同じ三音節のアクセントである「明治」「昭和」は以下のとおりである。

- | | | | | |
|---|---------------------------------|---------------------------------|-----|---------|
| ① | $\overline{\text{メイ}}\text{ジ}$ | 頭高型 | | |
| ② | $\text{シヨウ}\overline{\text{ワ}}$ | $\overline{\text{シヨウ}}\text{ワ}$ | 平板型 | 頭高型の二通り |

<クイズ?>

次の言葉のアクセントはどちらですか? ギター クラブ

参考文献

『明解日本語アクセント辞典』第二版 金田一春彦監修 秋永一枝編
三省堂 1989年

<「令和」の字音について>

- | | | |
|---|-----|----|
| ① | レイ | 漢音 |
| ② | リョウ | 呉音 |

参考文献

『角川新字源』小川環 西田一郎 赤塚忠 編 角川書店 1990年

まとめ:アクセントについては、文科省、学校等が指導、指定するものではな
く、使っているうちに自然と決まってしまうものである。